

Thailand-3

Bangpakong D.C. PHASE-II

増設 稼働中

竣工 DATA

竣工年月	2015 (平成27) 年8月	
設計者	三井住友建設	
施工者	SMCCタイランド	
施設概要	敷地面積	25,930.00㎡
	延べ床面積	18,155.00㎡
	構造	RC造一部鉄骨4階建
	プラットホーム	密閉型高床式・14バース
	防熱方式	断熱パネル工法
収容能力	総トン数	25,153t
	SF級	×
	セミ超	×
	F級	18,221t
	C級	×
	C&F	×
	定温	4,932t
	凍結	×
冷却設備	施工者	前川製作所
	冷凍機メーカー	前川製作所
	主要冷凍機	NH ₃ -CO ₂ 冷凍機(スクリュウ)・スクリュウ冷凍機
	冷媒	アンモニア-CO ₂ ・アンモニア-PGライン
冷却方式	セミ集中式・二次冷媒式・ユニットクーラー分散式・ライン式・ユニットクーラー	
荷捌室低温化	各階+10℃	
その他設備	ロープ式エレベーター1基(ルームレス)、垂直搬送機3基、ドッグレベラー2基、移動ラック3680PL、太陽光発電設備583.1kW	



バンパコン第2物流センター [2015 (平成27) 年]



物流機器(電動扉、ドッグシェルター、エレベーター、垂直搬送機など)や冷却設備は、日本のメーカー製を導入。




自然冷媒NH₃/CO₂式冷凍機のNewTon(前川製作所製)を導入。

ターの建設が大変良い刺激となったと思います。最新設備導入当初は、タイ人工務スタッフも確認する箇所や取り扱い方がわからず困惑していた様子でしたが、機器や設備業者の手厚いサポートによって徐々に知識を向上させ、今では異常を早期発見するなど、素晴らしい成長を遂げています。また、1号倉庫の建設から23年の差がありますが、第二物流センターを見本に1号倉庫のメンテナンスや改修案などの提案が積極的にされるようになりました。

ところで、防熱工事をワンノイ1期工事から同じタイの施工会社に発注し続けたことにより、バンパコン2期工事においては品質と技術力が劇的に進歩しています。その結果、予冷の時点で結露ゼロを達成するなど、防熱工事は国内の冷蔵庫と遜色の無い性能が達成出来ました。

また、低温室やC級の天井防熱において、国内の施工方法と同じ“打込みパネル”にもチャレンジし、仕上りも格段に向上しました。これらは当社の俵屋技術顧問が常々おっしゃっている「施主が業者を育てる」の教えを実践した結果です。

1号倉庫から23年、日本の技術を全て注ぎ込んだ最新型冷蔵倉庫の完成!

バンパコン第二物流センターは1号倉庫の裏にあった池を埋め立てた場所に建築したため、近隣のエビ養殖場から流入する排水による地盤沈下を最小限に抑えるため、多額な費用を使い造成工

事を行いました。建築するに当たっては、ワンノイ物流センター建築で得たノウハウ生かし、日本国内の倉庫にいる感覚になるほどの完璧な作りとなった。タイの現地従業員も最新の設備に興味を持ち、新しいセン

太陽光発電システムのパネルを屋上全面と側面に設置することで、タイ国内最大級の発電能力(580kW)を誇っている。当初は売電を行う予定だったが、タイ国の政変で売電事業を管轄する役所が機能しなくなったため、自社の冷却設備の動力として利用している。

